

大和市子ども読書活動推進会議 会議記録

会議名	令和7年度 第3回 大和市子ども読書活動推進会議
開催日時	令和8年2月26日(木) 16時~17時
開催場所	文化創造拠点シリウス 2-2会議室
出席 状況	参加委員 伊禮 利奈、大川 伸子、内田 久美子、今井 恵子、良知 仁美 長嶋 智美、福井 朱里(順不同・敬称略)
	欠席委員 今宮 智子、古木 裕彦、脇田 奈緒子(敬称略)
	市側出席者 <事務局職員>(3名)
	指定管理者 <図書館スタッフ>(3名)
	傍聴人人数 0名
公開非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
審議又は検討経過 及び結果	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の出席状況の確認(10名中7名出席) ・会長欠席のため副会長が進行 ・配布資料確認 <p>2. 議事</p> <p>(1) 第49回大和市民まつりへの参加について(資料1-1, 2, 3)</p> <p>◎事務局より、資料を基に、第49回大和市民まつりへの参加について説明。</p> <p>図書館:機能性と機動性の高いコンパクトなタイプの移動図書館車が最近始めている。作家にも協力してもらい、ラッピングバスのようにになっている。今回も申し込みはしているが、市民まつりまでに手配が間に合うかは、まだ決まっていない。今回使用できなくても、いずれ別のイベントで活用できればと考えている。</p> <p>委員:購入を希望する大型絵本の案はいつまでに出せばよいか。</p> <p>事務局:今年度中に購入を完結する必要があるため、この場での意見を参考に購入の検討をしたい。</p> <p>委員:保育園にもあるが、ばけばけばけばけばけたくんが絵の面白さがあり、大きい本だと新鮮に感じると思う。暗い明るいがはっきりしていて、かわいらしい絵本なので外に置いても良いと思った。</p> <p>委員:色がはっきりしていて遠くから見ても見やすい絵本が良いと思った。展示したときに子どもと一緒に写真を撮れる場所があると訪れやすくなるかと思う。</p> <p>※出展内容は前年の内容を基礎とすること、リサイクルブックを配布することについて特に意見等はなし</p>

(2) 読書についてのアンケート調査の経過について(資料2)

◎事務局より、読書についてのアンケート調査の経過について説明。

委員：小学生の子を持つ保護者を対象にしたアンケートを行ったとのことだが、どのようにアンケートを依頼したのか。

事務局：図書・学び交流課から学校に依頼している。全校対象ではなく、市域の北中南で、林間小、草柳小、下福田小の2, 4, 6年の各2クラスに依頼した。

(3)その他

◎図書館より、セカンドブック配付絵本の残部の活用方法について提起

図書館：セカンドブック事業の交換券の配布は令和6年度末で終了し、令和7年度末で絵本の配付も終了する。配付用の絵本が4種類合計で約800冊、トートバッグが約650枚残っている。図書館では活用案として、団体リサイクルフェアの案内を送る関係団体や保育園に配付して活用してもらう方法を考えている。税金を使って購入した本なので、子ども読書活動推進委員の皆様からより適切な活用方法について意見をいただければと考えている。

委員：幼稚園や保育園のほか、小学校も対象にしてもらえると嬉しいと思う。本の購入予算が大きく減っている学校も図書館のほかにも、ことばの教室や支援級、放課後こども広場、児童クラブで絵本の需要がある。もう一つ、絵本セットを貸し出している病院などは子どもが本を手にする場所なので、欲しいところが多いと思う。リサイクルフェアに来るのは本が好きで欲しくて来る団体だと思うので、必要だけど、そこに行けないような施設に配れば、施設も助かるし、たくさんの子もたちの手に触れるのではないか。

図書館：団体リサイクルフェアの案内は、幼稚園、保育園、児童クラブ、小学校、関係団体などに通知をしている。裾野を広げる活動は積極的に行っていきたいが把握する方法がないことが課題。ブックフェアの案内自体は214団体に送っているが、来場するのは40団体前後。来場する団体にはその場で渡せるが、それ以外の団体には、案内に引換券を入れて、1カ月くらいの猶予をもって図書館で渡すことを考えている。これだけの良い本を無駄にすることなく、子どもたちに届けることを主眼にして考えたい。

委員：公立保育園は古いけれどある程度の蔵書をもっている。やはり、012歳しかいない保育園は職員も少なくても借りに行きたくても借りにいけない、知っていても手が届かない、情報が入らない園がたくさんある。3歳半健診でちょうどこれからもらうはずだった子が集まる場所でもあるので、そういうところに届いて子どもたちが絵本に触れる機会になると良い。絵本に回す予算が少ないところも多い。

図書館：図書館が直接届けることは難しいが、公立保育園がそういった保育園をエリアごと統括した会議の場があると聞いたが配付を依頼することは可能か。

委員：公立保育園四園に分けてもらえば担当者が回っているのでセットをまとめて預かることはできると思う。ただ、幼稚園は難しい。

副会長：民間の方でも子どもの読書に係る活動をしている人に配付しようと考えたら、その人が知って、自分から図書館に問い合わせる形になるか。

図書館：最も公平なのは広報などに絵本の配付を掲載することかもしれないが、見方によっては無駄遣いと見えてしまうかもしれない。民間を対象にする場合は、絵本セットを貸していたり、団体登録をしていたり、といった線引きをしてお案内をするのが良いと考えている。この場での結論は難しいと思うが、今回の提案をもとに、より公平性が高い方法を検討していきたいと思う。

◎事務局より、第49回大和市民まつりの参加確認方法について連絡

◎事務局より、次年度の会議予定について連絡

事務局：通常は7月、10月、2月の3回ですが、次年度は子ども読書活動推進計画実施計画の策定があるため、12月から1月の間に1度、実施計画策定のために開催する予定。

3. 閉会

以上